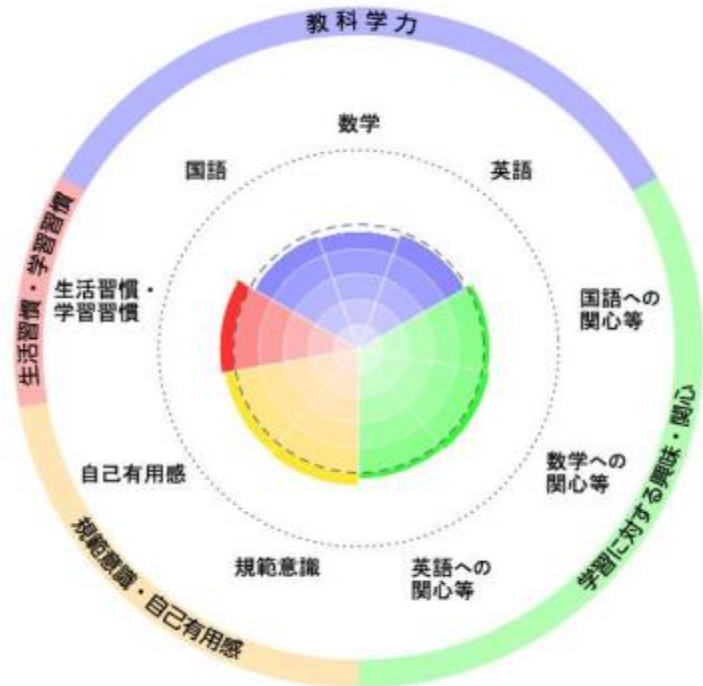


令和5年度 全国学力・学習状況調査における中学校の結果について【実施日:令和5年4月18日】

筑西市内中学校の結果についてお知らせします。なお、この調査の目的や、調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

1 令和5年度全国学力・学習状況調査における

本市のレーダーチャート



----- : 全国基準を示しています。

対象: 市内中学校第3学年
調査人数: 6校 624人
調査内容: 国語・数学・英語・生徒質問紙

2 教科に関する調査(レーダーチャートの「国語、数学」) ○:成果、●:課題

【国語】

- 聞き取ったこと(インタビューの文)を基に、目的に沿って自分の考えをまとめること
- 歴史的仮名遣いに直して読むこと
- 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えること
- 文脈に即して漢字を正しく書くこと
- 文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えること

◎今後の取組

- ・叙述を基に自分の考えを書く活動の充実
- ・文章から必要な情報を見付け、叙述を基に根拠を明確にして自分の考えをまとめる活動の充実
- ・既習の漢字を確実に使って文章を書けるようにする指導の徹底

【数学】

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えること
- 自然数の意味を理解すること
- 反比例の意味を理解すること
- ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること
- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

◎今後の取組

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図る工夫(既習の知識及び技能の習得状況を確認する機会の設定)
- ・証明を振り返り、図形の性質を論理的に考察する活動の充実
- ・データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する活動の充実

【英語】

- 情報を正確に聞き取ること
- 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形疑問文を正確に書くこと
- 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと

◎今後の取組

- ・目的・場面・状況を明確に設定し、既習の言語材料を繰り返し活用する言語活動の充実と中間指導の充実
- ・「話して書く」「読んで書く」等の領域統合型の言語活動の充実

3 生徒質問紙調査(レーダーチャートの「興味・関心等」～「生活習慣・学習習慣」)○:成果、●:課題

- 国語、数学、英語について「授業の内容はよく分かる」、「将来、社会に出たときに役に立つ」と答えた生徒の割合が全国より高い。
- 「将来の夢や目標を持っている」、「学校に行くのは楽しい」と答えた生徒の割合が全国より高い。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている・起きている」と答えた生徒の割合が全国より高い。

- 授業におけるPC・タブレットなどのICT機器の使用頻度について、「ほぼ毎日」と答えた生徒の割合は約1割であり、全国より約16ポイント(県より約28ポイント)低い。

- 普段(月曜日から金曜日)における、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間(学習塾で勉強している時間等を含む)について、「2時間以上」勉強していると答えた生徒の割合は3割弱であり、全国より約5ポイント低い。

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答えた生徒の割合が全国より低く、否定的な回答をした生徒が2割超いる。

◎今後の取組等

- ・ICTを日常的に活用し、生徒自ら学習を調整しながら学んでいく授業に転化するとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることで、主体的・対話的で深い学びの実現に努めます。

- ・問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びを推進するとともに、授業と連動して主体的に家庭学習に取り組む生徒の育成を目指します。**ご家庭でも、お子さんの家庭学習への励ましや環境づくりにご協力ください。また、学校から配付されている「タブレット使用ルール」を随時確認し、使い方や情報モラルについてのご指導を併せてお願いします。**

- ・自分と違う意見について考えることのできる生徒に育てるために、学級活動等において多様な考えを認め合い、折り合いを付けて集団としての意見をまとめる話し合い活動の充実を努めます。

- ・基本的生活習慣が身に付いている生徒がたくさんいます。**ご家庭での「早寝、早起き、朝ご飯」へのご協力を引き続きお願いします。**